

## 第4学年 社会科

# 自然災害から人々を守る活動

教材名 風水害から人々を守る ～自助・共助・公助の働き～

### 単元の目標

奈良県庁や宇陀市役所、関係機関の人々は、風水害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される自然災害に対し、様々な備えをしていることを理解する。また、聞き取り調査や地図・年表などの具体的資料を通して、必要な情報を調べ、まとめる技能を身に付けることができる。(知識及び技能)

奈良県や宇陀市で過去に発生した風水害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉えることを通して、その働きを考え、表現することができる。(思考力、判断力、表現力等)

自然災害から人々を守る活動について調べ、学習問題の解決に向けて意欲的に追究するとともに、地域社会の一員として協力しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

### 指導のポイント

- ・ 共助、公助について聞き取り、学んだことを生かして、地域の一員として自分ができること(自助)について考え、表現できるようにし、自助の重要性について気付かせる。
- ・ 共助、公助の働きや関係性が視覚化できる図を作成して、それらと関連付けて、自助について思考・判断できるようにする。

### 単元の指導計画

次	時	児童の学習活動	指導上の留意点
1	①	県内で過去に起きた自然災害について調べ、学習問題を設定する。	・これまで起きた自然災害の種類と被害の様子を地図や年表にまとめ、風水害に着目して疑問を出させる。
	②	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">奈良県内で起きた風水害に対して、どのような対処が行われてきたのだろう。</div> 学習問題に対して、予想し、調べる方法を考える。	・出てきた予想を時系列に整理したり、関係機関ごとに分類した上で、調べる方法を考えさせる。
2	③	紀伊半島大水害でどのような対処が行われたのかを調べる。	・市町村だけでなく県や国、その他様々な機関と協力し対処に当たっていたことに気付かせる。
	④	宇陀市役所危機管理課の方から話を聞く。(公助)	・市は、過去の風水害に対して、県や国とどのように連携してきたのか、また今後想定される災害に対して、どのような備えや取組、市民への啓発をしていくのかを話してもらう。
	⑤	地域の防災活動について消防団の方から話を聞く。(共助)	・過去の風水害に対して、どのような取組を行ってきたのか、今後どのような備えをしていくのかを話してもらう。
	⑥	学校の防災設備や防災機能について調べる。	・学校も避難所として様々な備えがしてあることに気付かせる。(防災無線、防災用品、災害用トイレ、貯水槽等)
3	⑦	今まで学習してきたことを分類・整理し、関連図としてまとめる。	・市や県、国などの機関や地域の人々が、自然災害に対してどのように連携して取組を進めているか考えさせる。
4	⑧	今後想定される自然災害に対して自分たちができることを考える。	・学習してきたことを振り返らせ、共助・公助をもとに自分たちにできること(自助)を具体的に考えさせる。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【本時】 今後、想定される災害に対して、自分たちには、どのような備えができるだろう。</div>	

## 展開例（本時 8 / 8）

本時の目標		奈良県庁や宇陀市役所(公助)、地域(共助)の取組と関連付けて、災害に備えて自分(自助)にできることを考え、表現することができる。
導 入	児童の学習活動	指導上の留意点
		○自然災害発生時の関係機関の協力について確認する。
展 開	今後、想定される災害に対して、自分たちには、どのような備えができるだろう。	
	○今後想定される自然災害に対して日頃から自分たち一人一人がどのような対策や備えができるのか予想し、発表する。	・今までの学習を振り返らせ、自分の生活の中で具体的にできることを予想させる。
	○今後想定される自然災害に対して県や市(公助)、地域(共助)では、どのような対策や備えをしていたか考える。	・今後想定される自然災害に対して、公助(市・県)、共助(地域)の立場から、どんな対策をとっているのか今までの学習を振り返らせ思い出させる。
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>(県や市の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇陀市防災ハザードマップ</li> <li>・風水害対策ガイド</li> <li>・広報</li> <li>・緊急速報メール</li> <li>・防災行政無線</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>(地域の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練</li> <li>・学習会や講演会</li> <li>・避難誘導訓練</li> <li>・食糧備蓄</li> <li>・防災点検</li> </ul> </div> </div>	
○公助・共助の働きと関連付けて自分(自助)にできることを再度、考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇陀市役所が配布しているハザードマップを事前に見て、もし台風が来たとき、自分の家は安全な区域にあるのか確認しておく。</li> <li>・近くの避難所の場所を確認しておく。</li> <li>・日頃から地域の行事や自主防災活動に参加し、地域の人々やその活動について知っておく。</li> <li>・広報を見て災害時、家での約束を決めておく。</li> </ul>	
○学習のまとめをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>県や市、地域の人たちが災害に備えてくれているから大丈夫なのではなく、それらの備えや取組と関連付けて自分にはどのようなことができるのかを考えることが大切である。また地域の一員として防災の取組に協力しようとするのが災害被害を減らすことにつながる。</p> </div>	
ま と め		